

(1) 完成せる大成橋全景(側面)

## 國道九號線大成橋工事

内務省東京土木出張所 大宮國道改良事務所 内務技師 森 經 義

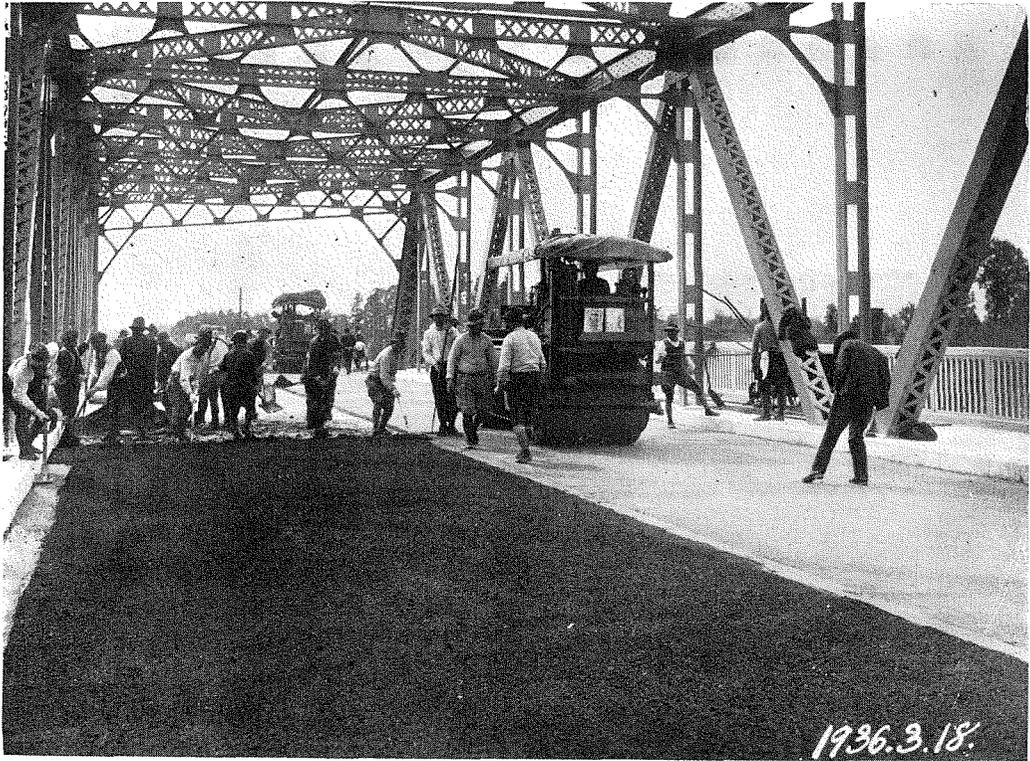
本橋は埼玉縣北足立郡日進村大字大成地内に於て國道九號線(中山道)の改良新路線が省線高崎線と大宮驛西北方約3杆の地點(日本橋を距る33杆)に於て交叉するを以て之が高低横斷の爲架設したる跨線橋である。

本橋は昭和9年度時局匡救道路改良事業として内務省直轄施行にかゝり、昭和10年2月着工、同年11月3日竣功同4月上旬前後道路の竣功と共に一般交通に供したものである。本橋の竣功に依つて舊國道に存する鑿道踏切の難を避け、一般交通運輸上の利便は蓋し大なるものがあるであらう。

工事の概要を摘記すれば即ち次の通りである。

### 1 構 造

橋 長	52m10
橋 面 積	625m <sup>2</sup> 0
支 間	50m×1連、45°斜橋
型 式	ワーレン型直弦構
橋 格	二等橋
有効幅員	車道9m0 歩道(各側)1m5
橋面舗装	車道 細粒式アスファルトコンクリート。



(2) 橋面舗装中の大成橋。

歩道 碎石コンクリート。  
橋 臺 半重力式鉄筋コンクリート。

## 2 主要材料及勞力

鋼材重量 193 噸 309kg/m<sup>2</sup> (主樑體)  
12 噸 (高欄)  
コンクリート 431m<sup>3</sup> (上部及下部工)  
鉄筋 27.5 噸 ( " )  
勞力 9032 人

## 3 工費 (高低交叉に要せし總工費)

橋梁費 92,363 圓0 (上・下部及雜工)  
土工費 43,837 圓0 (盛土及擁壁)  
用地費 7,000 圓0  
補償費 4,400 圓0 (鐵道省及遞信省通信  
線嵩上)  
計 147,600 圓00

## 餘白を藉りて

新聞號外の鈴の音を聞かれ日は何だか物足りない様な我々の丸ノ内ではあるが、五月二十八日の新聞號外は餘りにも我等に大なるショックを與へたそれは鐵道疑獄の檢擧が擴大して遂に平井工務局長及び黒田東京改良事務所長を拘引したと云ふのである。

愕然とした我等は直に之は『無實だ』と直感した。而して檢察當局が誤つたのだなと直感した。

恰度其日は鐵道協會の定例午餐會の日であつたから、正午近くには多數の土木技術家が集まつたが、談話室でも食堂でも此話題は一同の憂色と俱に今日の會合を幾分暗くした様であつた。

其日の夕刊と翌日の朝刊と全國の新聞は如何に大袈裟に書立てた事よ、輕卒なる此の新聞記事は何と云ふ有様だ、正義は遂に勝ち無實は遂に明白になつて、兩氏とも近く必ず青天白日の身となる事は斷じて疑ひないが、然し此の大袈裟な新聞報道の爲に災ひされた事は何うなるであらうか。

我等は平井博士と黒田氏の人格に對して多大の信頼を持してある、兩氏の爲に唯災難とのみ云つてあられないではないか。(6月1日一記者)